

# 第16回 岐阜県新型コロナウイルス感染症

## 教育推進協議会 議事要旨

1 日 時：令和4年2月7日（月） 18：00～19：00

2 出席者：学識経験者・学校関係者等15名

### 3 議事要旨

#### 【学校での感染防止対策】

- ・ 現在の流行状況はオミクロン株がほとんど。オミクロン株は、病原性は低いですが、症状は軽いわけではない。登校や出勤が難しいほどの症状。
- ・ 校内での黙食は感染リスクが小さいが、登下校中の飲食や会話等はリスクが高い。学校の管理下で感染対策していれば校内での感染リスクは低い。
- ・ 年度末は受験生のみならず、全ての在校生にとって大切な時期。学年末考査や進級に向けての準備など、しっかりと学習できる環境づくりが重要。
- ・ 感染対策に関する研修動画を全職員でしっかり視聴して、コロナ対策のルールを理解して対応することが必要。
- ・ 2～3歳児のマスクの着用は現実的には難しいため、周りの大人がマスクを着用し、ウイルスを持ち込まないよう対策に努めていくことが必要。

#### 【部活動の休止などさらなる対策】

- ・ クラスターの分析によれば、部活動で感染が広がったというデータがある。特に、屋内で相手と近接しているものは、感染するリスクが高まる。
- ・ さらなる対策強化については、既に着手済みの部分もあるが、2月8日からしっかり実施できるよう、市町村教委でも準備を進めていきたい。

#### 【高校入試の対応】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染急拡大を受け、第一次選抜の本検査や追検査のいずれも受検できなかった場合の救済策の設定に感謝する。
- ・ 私立学校の入試では、実施教科の削減、面接の中止、別室受験などの対応を実施。別室受験の対応では、1教室に1人で対応した学校もあった。

#### 【家庭との連絡】

- ・ 保護者にも感染対策に関するルールや、連絡手段等について、学校の方針をきちんと周知することが大切。
- ・ 保護者の中には仕事を休んで子供の世話をしないといけない人もいる。早めに調査し、無症状であれば、早めに登校させることもできる。学校では、陽性者が出たら速やかに閉鎖し、保護者にもその旨連絡しているが、それ以降も折々に保護者に連絡することが不安の軽減につながる。

#### 【ワクチン接種】

- ・ 教職員は接種の意義を理解いただき接種に臨んで欲しい。また、小中学生のワクチンによる副反応の出現率は高校生以上と同等。